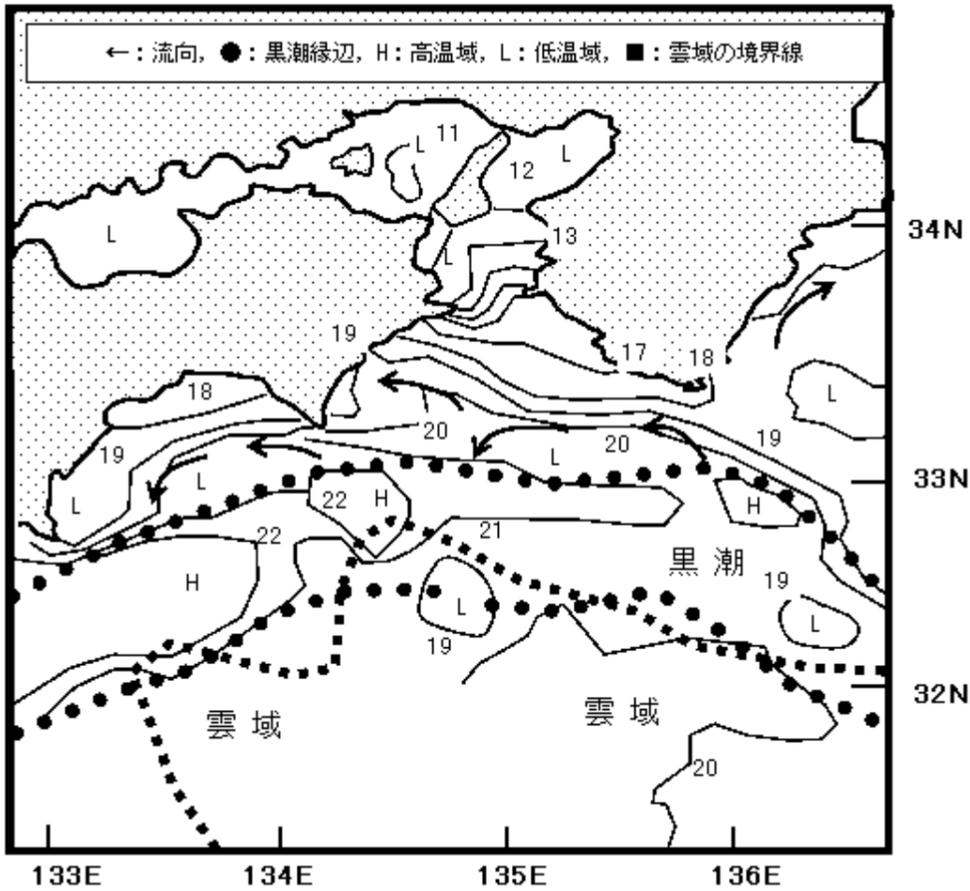


1. 海況の経過

1) 黒潮

九州東岸～足摺岬南～室戸岬で接岸、紀伊水道沖～潮岬でやや離岸して流れている。表面水温は21℃前後。



2) 海況

上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.3.18～19)を示した。

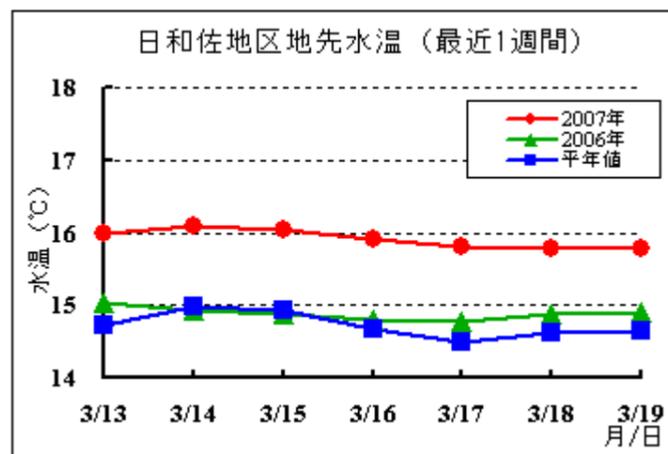
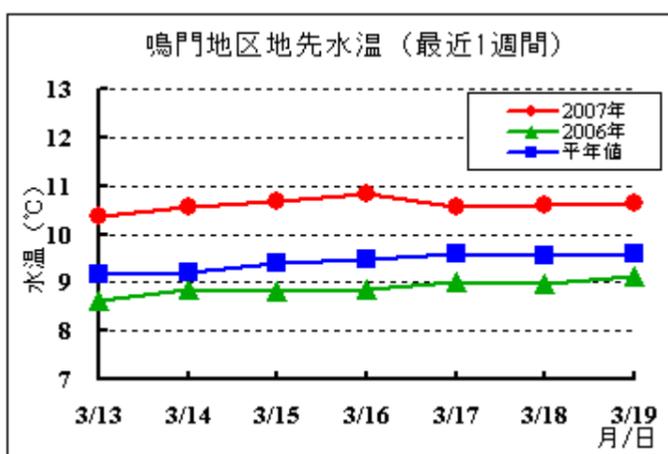
表面水温は播磨灘が10～11℃、紀伊水道内部が12～16℃である。水道外域は16～20℃であるが、潮岬沖からの黒潮暖水が徳島県沿岸部まで達しているため徳島県沿岸部の水温が和歌山県側より高くなっている。
 漁業調査船「とくしま」が3月9,12,13日に行った海部沿岸海区の海洋観測結果では、水温は、全層～50m層は「高め」で、表層で17.7℃、10m～50m層でいずれも17.6℃、100m層で16.3℃であった。
 表層の水温は昭和44年の観測以降3月の水温では2番目に高かった。

海部沿岸海区観測結果 (観測日 2007/03/09,12,13)

水温	水深						塩分	水深					
	表層	10m	20m	30m	50m	100m		表層	10m	20m	30m	50m	100m
今年値	17.7	17.6	17.6	17.6	17.6	16.3	今年値	34.7	34.8	34.8	34.8	34.8	34.7
平年偏差	1.8	1.8	1.8	1.9	1.7	1.0	平年偏差	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
前年偏差	0.9	0.9	0.9	1.0	0.9	0.4	前年偏差	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2

3) 地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の10.4～10.8℃で、日和佐地区が「やや高め」の15.8～16.1℃で、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の15.0～16.3℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にアマダイが0.5トン(1日1隻あたり21kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、キビナゴが2.7トン(同55kg)、カタクチイワシが1.3トン(同25kg)、アオリイカが0.6トン(同5kg)、ブリが0.4トン(同8kg)、カワハギが0.3トン(同10kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にゴマサバが1.0トン(同30kg)、特大主体にマサバが0.7トン(同21kg)、大主体にアオリイカが0.4トン(同7kg)、小主体にタチウオが0.4トン(同27kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが3.1トン(同65kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、イカナゴが0.6トン(同25kg)、シラスが0.2トン(同75kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)3月08日～3月14日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	24	496	21	大主体
小型定置網		キビナゴ	49	2,706	55	
		カタクチイワシ	51	1,281	25	
		アオリイカ	107	572	5	
		ブリ	56	437	8	
		カワハギ	29	294	10	
釣り	ゴマサバ	32	960	30	大主体	
	マサバ	36	749	21	特大主体	
	アオリイカ	60	405	7	大主体	
	タチウオ	15	404	27	小主体	
パッチ網	紀伊水道	タチウオ	47	3,057	65	特大主体
		イカナゴ	24	600	25	
		シラス	3	225	75	

週間予報:

黒潮は、室戸岬、潮岬とも「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の10～11℃、日和佐地先で「やや高め」の16～17℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のパッチ網でシラスが57.8トン(1日1隻あたり647kg)、曳き縄でタチウオが3.1トン水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが8.3トン、さば類が5.5トン、スルメイカが3.3トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上